

内閣府男女共同参画局第9回基本問題・影響調査専門調査会

女性の大活躍推進福岡県会議



WE Project

女性の大活躍推進福岡県会議

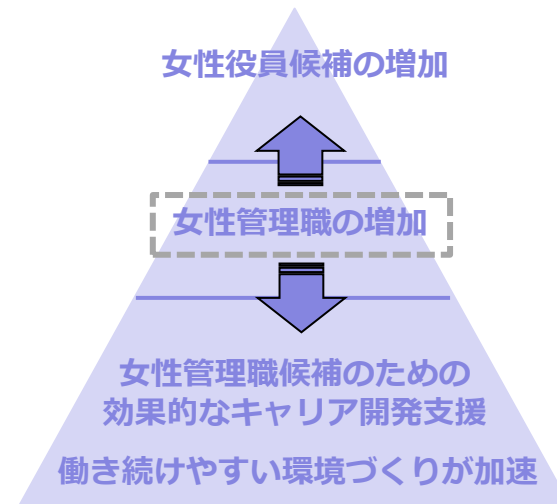
- ・ 目的と重点活動
- ・ 発足の背景と経緯
- ・ 組織運営と活動形態
- ・ 自主宣言制度の現状
- ・ 女性管理職ネットワーク

女性の大活躍推進福岡県会議とは

- 発足： 平成25年5月16日 発足記念の女性活躍フォーラムを開催
- 目的： **経済活動における女性の活躍推進**による地域経済の活性化と
活力ある未来社会づくり（男女共に働きやすく、生きやすい社会づくり）
- 特色： **経済界主導による産学官民一体の運動**
- 戦略： 組織内で働く女性の管理職増加に焦点をあて、女性の活躍推進の成果を見える化する
- 基本方針： 自立的・自主的取り組みの尊重
- 機能： 具現化推進と情報発信の交流・連携結節点（プラットフォーム）
- 展開： 福岡県を先行モデルとした「九州会議」へ、さらには日本各地へ

<3つの重点活動>

- ・ 女性管理職比率・数等の目標設定
自主宣言目標登録制度の設計・運用
企業や団体トップへの働きかけ
取組みの認知向上や行政への働きかけ
- ・ 女性の能力・意欲の発揮支援
女性管理者の見える化とネットワーク化
女性管理者候補やリーダー層の人材開発
女性の能力を活かす側への支援
- ・ 男女共に活躍できる社会環境づくり
ホームページの企画・運営と社会への発信
女性人材活躍の現状把握・分析
関係機関等への提案・提言



経済界の動き

- 平成24年9月 「地域経営を考える政策懇談会」*において、女性の活躍推進について検討開始。
背景：1) 総合的な競争時代、2) 少子高齢化社会、3) 高い能力を有する女性人材の活用の遅れ
目的：企業の経営向上と地域経済の活性化を図るとともに、男女共に働きやすく生きやすい社会づくり
* 九州経済連合会、九州経済同友会、九州商工会議所連合会、九州経営者協会、九州地域産業活性化センターのトップが、九州の最重要課題や将来展望についてディスカッションし、問題意識や地域戦略の共有化及び具現化方策をさぐるもの
- 平成25年1月 九州地域産業活性化センターが事務局となって、地域の女性リーダーとの意見交換会を数回にわたって実施し、女性活躍推進の運動体についての企画案作成。以降、経済団体幹部、主要企業幹部、自治体担当者などとの意見交換を重ねる。
- 平成25年5月 「女性の活躍推進福岡県会議」発足（九州地域産業活性化センターと九州経済連合会が事務局）
- 平成25年6月 「女性の活躍推進福岡県会議」第1回企画委員会開催
- 平成25年8月 「女性の活躍推進福岡県会議」自主宣言登録制度開始
- 平成25年9月 「女性の活躍推進福岡県会議」ウェブサイト開始
- 平成25年10月 「女性の活躍推進福岡県会議」女性管理職ネットワーク発足

行政の動き

- 平成15年9月 福岡県が子育て応援宣言企業の登録制度を開始。
- 平成25年11月8日の現在登録企業数は4,693社。
- 平成22年12月 九州経済産業局と九州経済連合会は、60のアクションで構成される九州成長戦略アクションプランを策定し、女性活躍推進に関する項目も盛り込まれた。
- 平成23年10月 北九州市男女共同参画センタームーブによる次世代リーダー養成講座開始（働く女性のキャリアアップ講座）
- 平成24年7月 福岡県と福岡県男女共同参画センター・あすばるによる「福岡女性いきいき塾」創設
- 平成25年4月 福岡市による企業内の女性活躍推進プロジェクト支援事業開始

働く女性の動き

- 平成5年12月 働く女性を応援するネットワーク型情報誌「アヴァンティ」創刊。今年で20周年。
- 平成24年9月 女性有志により、組織で働く女性の活躍に向けた推進活動についての検討開始。
その後、九州地域産業活性化センターと働く女性のネットワークとの連携を支援。



組織運営と活動形態

代表

松尾 新吾 (九州経済連合会 名誉会長)
久留 百合子 (株式会社ビスネット代表取締役)

顧問

福岡県知事	小川 洋
北九州市長	北橋 健治
福岡市長	高島宗一郎
九州経済産業局長	廣實 郁郎
福岡労働局長	酒光 一章
九州地域活性化センター会長	麻生 渡

支援団体

九州経済連合会 福岡経済同友会
福岡県経営者協会 福岡県商工会連合会
福岡県商工会議所連合会
福岡県中小企業団体中央会
福岡県中小企業家同友会
福岡県中小企業経営者協会連合会
日本労働組合総連合会福岡県連合会
九州生産性本部 福岡県中小企業診断士協会
福岡地域戦略推進協議会
九州地域中小企業等支援専門家連絡協議会
九州ニュービジネス協議会 福岡県女性財団
福岡県男女共同参画センター・あすばる
北九州市男女共同参画センター・ムーブ
福岡市男女共同参画推進センター・アミカス
西日本新聞社 日本経済新聞西部支社
朝日新聞西部本社 読売新聞西部本社
毎日新聞西部本社 (平成25年10月末現在)

企画委員会

事業の企画運営を担い、実働する委員
現在、30名で構成

- ・企業経営層／女性活躍推進担当者
- ・企業内女性リーダー／若手
- ・行政及び支援団体の関係部署メンバー

委員長 川原 正孝 (株式会社ふくや 代表取締役社長)
副委員長 松田 美幸 (福岡地域戦略推進協議会フェロー)

会員

設立趣旨に賛同する
企業 各種法人 大学等の教育機関
地方自治体 NPO グループ 個人など

自主宣言部会

女性管理職登用の促進

自主宣言登録制度
登録企業・団体 26
(平成25年10月末現在)

女性人材部会

女性の能力・意欲の発揮支援

女性管理職ネットワーク
(WE-Net福岡) 一期生会員 33名
(平成25年10月末現在)

環境整備・広報部会

女性が活躍しやすい環境づくり

内閣府連携事業への参画
(平成25年10月～平成26年3月)
女性管理職ネットワーク活用検討委員会委員

女性大活躍推進宣言登録 [平成25年8月受付開始]

- ・女性の大活躍の実現を目指し、企業や団体が自ら「目標」を設置するとともに、代表者の署名により本会議に登録する
- ・宣言登録した企業・団体に登録証を差し上げ、本会議の活動やウェブサイトを通じて公表する

自主宣言目標

- ・女性管理職の比率または人数の数値目標を掲げる
- ・管理職の範囲については、慣行的に企業・団体それぞれが決めたものに拠る
- ・目標年については原則1年から5年までの間で、それぞれの企業・団体の実状に則し自由に設定する

期待される効果

- ・地域における女性の活躍推進の「見える化」をもたらし、取組みの拡大を促す
- ・各企業・団体における女性活躍推進の「見える化」をもたらす
女性の活躍を具体的に推進することを広く社会に公表（外からの見える化）
女性の活躍支援・登用計画を組織内で明確化（内からの見える化）

自主宣言登録企業・団体の登録状況 [平成25年10月末現在]

- ・26企業・団体 うち自治体は4（福岡県 北九州市 福岡市 福津市）
- ・規模は小規模から大企業まで、業種も製造、流通、教育、医療、通信、ホテル、不動産、食品、新聞社、監査法人、経済団体など多岐にわたる
- ・宣言目標の例

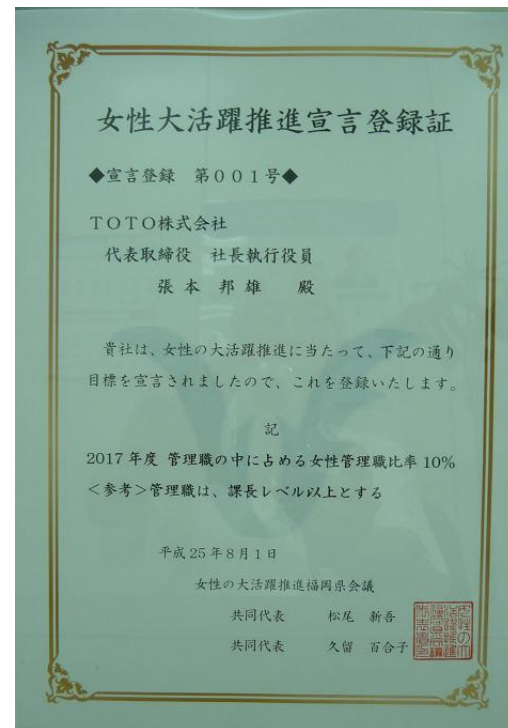
2017年度、管理職の中に占める女性管理職比率を10%に〔製造業〕

女性の管理職比率を2020年度に25%に（2013年4月 15.4%）〔食品〕

5年以内に当社初の女性管理者（課長）を輩出を目指す〔通信サービス〕

現在5名いる女性管理職を5年後には10名としたい〔監査法人〕

平成30年度までに、役付職員に占める女性の割合を20%以上に〔自治体〕



女性大活躍推進宣言登録証



WE-Net福岡の概要 〔平成25年10月23日 一期生発足〕

- ・対象者：福岡県内に事業所がある企業・団体の課長・部長級女性管理職で、各社・団体1名を会社から推薦
- ・人数：各期40名の定員を予定
- ・期間：各期は1年間（一期生のみ、1年半）とし、修了後は自主的に卒業生組織を構築して継続的に活動する
- ・目的：**会員間の交流**：女性管理職としてお互いに支え合う仲間と出会う
相互研鑽：管理職としての**自己研鑽及び次世代育成**に資することを共に学ぶ
女性の活躍推進：横のつながりを活かし、自社の経営者層への働きかけや地域社会への働きかけに積極的に関わる

活動内容

- ・定例会：勉強会、経営者層との交流会、他地域の女性管理職との交流など、3ヶ月に1回開催
定例会の企画・運営及び記録作成などは会員が主体的に行う
開催会場は持ち回りで会員の企業・団体の会議室などを利用し、会員企業の幹部や社員にも活動を広く周知する
- ・情報発信：メディアからのインタビュー対応、本会議や関連団体が主催するイベントなどにおけるスピーカーやパネリストとしての登壇などを通じて、活躍する女性のひとりとして積極的に発信する
- ・メーリングリストによる会員間の情報交換や意見交換



WE-Net福岡 第1回会合 10月23日



グループワークで活動の企画を練る



松尾代表も交流会に参加し、激励